

数理解析研究所講究録 22

位相解析的方法による偏微分方程式
論研究会及び散乱理論の数学研究会
報 告 集

京都大学数理解析研究所

1967年5月

「位相解析的方法による偏微分方程式論の研究會」

1966年12月17日, 18日.

「散乱理論の教養研究會」

1966年12月19日, 20日.

報告集

目次

1. Uniqueness in Cauchy Problem 1
京都大学 林田和也
2. Finite Type System of Partial Differential Operators
and Decomposition of Solutions of Partial
Differential Equations 10
京都大学 松浦重武
3. Kowalewski 系に対する Cauchy 問題について 18
大阪大学 山本 稔
4. Dissipative wave equation に関する
極限振幅の原理について 27
京都大学 望月 清
5. 二階楕円型偏微分作用素の分散中の定義域について 34
東京大学 藤原大輔
6. Boltzmann 及び Schrödinger 作用素の固有値問題 45
京都大学 内山 淳

7.	発展方程式の解の $t \rightarrow \infty$ における漸近的性質	53
	東京大学	増田久弥	
8.	散乱の理論における定常的方法について	65
	京都大学	浅野 潔	
9.	Sobolev 空間の埋蔵定理の証明について	77
	京都大学	村松 奇延	
10.	Friedricks-Berezin の理論と BCS reduced Hamiltonian のスペクトル	88
	神戸大学	麦 林 布 道 加 藤 裕 輔	
11.	場の理論における散乱理論	104
	京都大学	荒 木 不二洋	
12.	超函数と定数係数偏微分方程式	127
	東京大学	小 松 孝三郎	